

## 平成 24 年度 広島県地震被害想定調査検討委員会（第 4 回）議事要旨

- 1 日 時 平成 25 年 3 月 31 日（日） 13 時 30 分～15 時 30 分
- 2 場 所 広島県広島市中区基町 10 番 52 号  
広島県庁北館 2 階 第 1 会議室
- 3 出席委員 土田委員，岩井委員，奥村委員，海堀委員，香川委員，神野委員，  
柴田委員，高橋委員，船本委員（山下委員代理），本瓦委員
- 4 議 題 (1) 津波浸水想定結果について  
(2) 長者ヶ原断層調査について  
(3) 被害想定項目・手法について  
(4) 被害想定を検証について
- 5 担当部署 広島県危機管理監危機管理課  
TEL (082) 513-2784 (ダイヤルイン)

### 6 会議の内容

#### (1) 津波浸水想定結果について

- 予測条件，シミュレーションを行う地震・津波の選定，予測結果について，各委員了承。
- 予測条件および予測結果について，委員から次の事項の確認がなされるとともに意見が出された。
  - ・ 資料 1-1 p7 水位時系列変化を示した図に関し，南海トラフ巨大地震の水位変動結果は 12 時間では減衰が十分ではないのではないか。
  - ・ 資料 1-3 p1 「発生頻度が低い」という記述があるが，「起きたら最大となる津波」等の表現とした方がよいのではないか。
  - ・ 資料 1-3 p16 の図に関して出典（気象庁）を示す。
  - ・ 資料 1-3 p16 下図の中で，初期潮位と言う文言を用いているが，上図と合わせるために，平常潮位としたほうがよい。
  - ・ 資料 1-4 p23 に関して，必ずしも河川や海に面した側から浸水しているわけではなさそうなので，浸水経路の情報についても記述した方がよい。
  - ・ 資料 1-5 南海トラフ巨大地震による津波影響開始時間が，これまでの想定に比べて早いのは，瀬戸内海が波源となっているからということを説明として入れた方がよい。
  - ・ 啓発用資料には，日本列島が大きな地殻変動によって形成されていることを加えてはどうか。
  - ・ 資料 1-5 p8 「近い将来発生する津波を想定したものではない」とあるが，このような表現は不適切だと思う。
  - ・ 資料 1-5 p2 ( ) 内の数値は，地殻変動量を考慮した「津波の高さ」とあるが，地殻変動量を考慮したという文言はいらぬのではないか。
  - ・ 資料 1-5 p5 の表内における下線の意味を記述する。

- ・ 資料 1-5 p6 用語の解説へ⑧として津波の高さという項目を設けること。
- (2) 長者ヶ原断層調査について
- 次の各項目について、各委員承認。
    - ・ 写真判読・現地調査・レーザーデータ解析の結果、反射法地震探査の結果、トレンチ調査の結果、長者ヶ原断層・芳井断層のトレース（位置・長さ）、専門部会検討結果について、各委員了承。
  - 長者ヶ原断層（および芳井断層）調査結果について、委員から専門部会における検討内容の補足説明がなされた。
    - ・ 神辺平野で実施した地震探査およびトレンチ調査では、はっきりした結果が出ていないが、活断層の存在に関しては、長者ヶ原断層では数千年もしくは1万年ぐらいのかなり新しい時代の地層を切る断層露頭が確認されたほか、芳井町吉井の地震探査結果では断層活動による岩盤の段差がみられており、活断層の存在が予想され、地質的な条件を現在確認中である。
    - ・ 神辺平野では断続的ながら断層地形（リニアメント）が確認できることから、芳井断層、神辺平野のリニアメントおよび長者ヶ原断層を一連の活断層として評価した。
- (3) 被害想定項目・手法について
- 被害想定手法、被害想定結果の検証について、委員から次の意見が出された。
    - ・ 資料 3-1-1 p8にある「防災・減災対策の効果の試算」について、対策を講じた場合の減少分を試算することになるが、何のためにこの試算を行うのか、広島県の対策と合わせて、目的を明確にしておく必要がある。
    - ・ 資料 3-1-2 p59にある経済被害想定について、内閣府の項目にある「全国への波及影響」を評価するのか。評価するにしても、この被害は県外で発生した被害の波及的影響であり、他の被害と性質が異なることに注意が必要である。
    - ・ 広島県の場合、広島市の経済中枢性が棄損したときに、県全域にどのような影響があるかという評価を行えないか。
    - ・ 資料 3-1-2 p81にある損失ストックの算定について、津波被害を受けた地域は1年後に10%しか復旧しないことになっている。間接被害は、復旧速度に依存するということを出すべき。長期間復旧にかかる場合もあるが、その復旧速度を速めると経済被害が減少するというメッセージを出すために、1年間だけでなく、もう少し長期で経済被害を出すべきと考える。
- (4) 被害想定を検証について
- 次の各項目について、各委員承認。
    - ・ 液状化による建物被害の検証結果、液状化検討手法の代替手法について了承。

## 7 会議の資料名一覧

- 資料1-1 津波浸水想定について（予測条件，津波の選定）
- 資料1-2 浸水想定と比較図
- 資料1-3 津波浸水想定について（解説）
- 資料1-4 津波浸水想定図（25,000分の1）
- 資料1-5 平成24年度「広島県津波浸水想定図」について
- 資料2 長者ヶ原断層（および芳井断層）の調査結果
- 資料3-1-1 ライフライン被害等の被害想定項目・手法の概要
- 資料3-1-2 ライフライン被害等の被害想定手法
- 資料3-2 被害想定手法の訂正
- 資料4 被害想定を検証